



練馬区立
石神井小学校
学校だより
令和3年度9月号

人間の可能性

校長 関川 健

元気な子供たちが戻ってきました。結局は全期間が緊急事態宣言下の夏休みで、不自由に過ごされた方が多かったのではないのでしょうか。保護者の皆様のご苦勞を拝察いたします。

私個人としては、東京2020大会がありましたので、夏休み前半はオリンピック、後半は現在も開催中のパラリンピックで、スポーツの素晴らしさを存分に味わった日々でした。ほぼ遠出などをしませんでしたので、オリンピックの期間中、仕事の無い日は朝から、仕事の日も帰宅後すぐテレビ観戦をしていました。時差の無い自国開催ですから、大抵の競技はLIVE観戦できました。観たい競技が重なると、テレビ2画面にPCまで並べて観ていました。ワクワク、楽しい、贅沢な時間でした。

その中で、感動とともに改めて気が付いた(勉強になった)ことは、パラアスリートの何と多様なことかということです。こんなにも多くの競技をLIVEで観戦したのが初めてだからという不勉強を棚に上げてですが、例えば、「運動機能障害クラスの背泳ぎ」の選手です。障害の部位は腕(手)、足、さらに右か左か、そしてその状況は・・・選手の数だけあるわけです。また、生まれたときからの選手もいれば事故や病気で、という選手もいます。そして、特にすごいと感じたのは、その泳ぎ方の工夫です。水中カメラでの下からの映像を見るとよく分かりました。全身をしなやかなうねらせた泳ぎ方、右足と左足を全く違った動作で動かす泳ぎ方、両腕を同時にかく・・・一般的な「背泳ぎ」の泳ぎ方には全く当てはまりません。どの選手も、ルールの範囲で自分が最も早く泳げる泳ぎ方を見いだしたわけです。どれだけの試行錯誤と練習を積み重ねてここまでたどり着けたのだろうかと、その努力に対する敬意とともに、「人間のもつ力と可能性に、限界というものは無いのだな」と気付くことができたパラリンピックでした。子供たちには、挑戦することの素晴らしさを伝えていきたいと、改めて強く思いました。



コロナ禍は、収束どころかむしろ今までの最も深刻な状況です。2学期の学校の教育活動はこれまで以上に注意深く進めていかなければなりません。その中で大きな行事として、11月13日(土)に1・3・5年、20日(土)に2・4・6年の「音楽発表会」を計画しています。表現運動発表会とはやり方を変え、1回目の発表を児童の鑑賞、2回目の発表を保護者の鑑賞とする計画です。音楽発表会はフロアで鑑賞していただくため、コロナの状況にもよりますが、最大200名が可能な状況であれば各家庭2名までとしたいと思います。この形での実施が可能になることを、今は祈るしかありません。

9月の行事予定

1日(水) 始業式 給食始 通常時程	14日(火) 朝読書
3日(金) 身体計測(1年)	15日(水) 委員会活動
6日(月) 全校朝会 安全指導 身体計測(2年) 児童の学力向上を図るための調査(5年)	20日(月) 祝敬老の日
7日(火) 朝読書 身体計測(3年) 児童の学力向上を図るための調査(6年)	21日(火) 全校朝会
8日(水) 身体計測(5年) 児童の学力向上を図るための調査(4年)	22日(水) クラブ活動
9日(木) 身体計測(6年)	23日(木) 祝秋分の日
11日(土) 土曜授業日(公開なし) 区一斉防災訓練(1年のみ引取訓練)	24日(金) 4時間授業 2年3組研究授業(5校時)
13日(月) 全校朝会	27日(月) 全校朝会 移動教室前健診(6年)
	28日(火) 朝読書 下田移動教室(6年)出発
	29日(水) 身体計測(4年) 色覚検査(4年希望者) クラブ活動(4、5年のみ)
	30日(木) 音楽集会 下田移動教室(6年)帰校

校内研究授業報告

6月18日(金)に6年1組で研究授業を行いました。今回の授業では、行きたい国を紹介するための、英語での表現を考える学習でした。これまで学んできた英語を使って、行きたい国の特徴や魅力をタブレットを使って調べたり、伝え方を考えたり、伝え合ったりしました。一生懸命に英単語を使って表現する姿が見られました。



【6年担任 入倉喜久子】

交通安全教室報告

石神井警察署の方に来ていただき、安全な自転車の乗り方と道路での自転車のルールについて、教わりました。

自転車安全教室の後には、教わったことを復習し、免許証をもらいました。どの子も嬉しそうに顔とともに、今後も「交通ルールを守って自転車に乗ろう」と意欲を高めていました。

【交通安全教室担当：斎藤真衣】

練馬区一斉防災訓練

9月11日(土)4校時に、震度6の地震が発生した想定で、避難訓練があります。本来は、保護者への引き渡し訓練を行う予定でしたが、今年度は避難行動をとった後に、防災に関わる指導をクラスごとに行います。

避難訓練は、教員にとっても大切な訓練です。これを機に、ますます気を引き締めてまいります。

【生活指導主任：野村 徹】

2年表現運動発表

約2か月をかけて「Mela!～みんながヒーロー～」を踊りました。最初から、リズムに合わせてノリノリに楽しみながら踊る笑顔が素敵でした。曲が進むにつれて、難しいところや合わせるところに悪戦苦闘をしましたが、汗をかきながら何回も諦めずに練習をして、本番はばっちり曲に合わせて踊る姿が立派でした。3クラスともに、休み時間になると、「Mela」の曲が聞こえてきました。自然と踊りだす子供たちの姿が大変微笑ましかったです。きっと家でもたくさん練習をしたのだと思います。子供たちへの励ましの言葉や衣装のご準備ありがとうございました。



【2年担任 大山聖絵】

3年表現運動発表

はじめての鳴子を持った演目「石小よさこい」では、鳴子の持ち方、鳴らし方からスタートしました。自分たちの練習を動画で見返し、練習回数を重ねるたびに上達していく姿がとても素敵でした。練習が途中で中断しながらも、わずかな練習期間で、肘から手首を使って鳴子を鳴らすことを意識して、迫力のある踊りができるようになりました。子供たちからの「家でも練習をしたい。」という声が多く聞こえました。家でもたくさん練習したことと思います。表現運動発表会に向かう子供たちへの様々なご協力ありがとうございました。

【3年担任 田中大助】

4年表現運動発表

日々新しい機械が発表され、科学技術の進歩が目まぐるしいこの時代に新しい生活様式が加わり、さらに通信技術の進歩が加速されました。そのような時にあえて時代と逆行するようで、人と人が対面し言葉を送り合える当たり前だった時代に戻りたいという願いとこのような通信手段もあるという提案を込めて手旗信号に挑戦しました。フラッグを振ることに意味や意思をもたせることで、フラッグダンスとはひと味違った動きになったかと思います。子供たちの想いはSNSでもなく、会話でもなく、両手のフラッグに乗せて届けることができました。たくさんのご感想やご協力ありがとうございました。

【4年担任 鹿島 啓】